学校番号	1011

令和８年度　(専)英語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
(専)英語	(学)英語総合	4	3	All Aboard! English Communication Ⅱ be 4th Edition English Grammar 24

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・英語コミュニケーションⅡで学習した内容を踏まえて、総合的に英語でのコミュニケーションを行うことをめざします。
・英語の語彙については、実際のコミュニケーションのなかでどのように使われるか、ということを意識して学習することが大切です。つねに「英語を使う」ということを意識して学習しましょう。
・音読は、外国語学習のなかでとても大切な練習のひとつです。英語のリズムやイントネーションに気をつけ、聞いている人に伝わるように心がけましょう。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第３学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと (やり取り)	話すこと (発表)	書くこと
学習到達目標	・身近なトピックや知識のある社会的なテーマに関する短い会話を聞いて、概要や要点を理解することができる。 ・ゆっくりはっきり話された天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、内容を理解することができる。	・身近なトピックに関する 300 語程度の記事やレポート等から、必要な情報を読み取ることができる。 ・簡単な語や表現を使って書かれた短い物語や伝記などを理解することができる。	・店や駅などの公共の施設において、自分の要求すること等を適切に説明し、解決することができる。 ・天候、時間、物の値段など、日常的に必要な事柄について、決まった表現や形式を尋ねたり答えたりすることができる。	・身近なトピックや興味・関心のあるテーマについて、即興で説明することができる。	・自分のこれまでの経験や身近なトピックについて、複数の段落から成る説明文を書くことができる。 ・簡単な語や基礎的な表現を用いて身近なことについて複数の文を書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・外国語の音声や語彙、表現、文法、言語の働きなどの理解を深めるとともに、これらの知識を「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」、「書くこと」による実際のコミュニケーションにおいて、目的や場面、状況などに応じて適切に活用できる技能を身につけている。	・コミュニケーションを行う目的や場面、状況に応じて、日常的な話題や社会的な話題について、外国語で情報や考えなどの概要や要点、詳細、話し手や書き手の意図などを的確に理解したり、これらを活用して適切に表現したり伝えあったりしている。	・外国語の背景にある文化に対する理解を深め、聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら、主体的、自律的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	L2 With the Beatles L3 Wild Men	聞くこと	a: 比較表現、it の用法に留意しながら、本文の内容を聞き取る技能を身につけている。 b: インタビューの内容について、要点や必要な情報を聞き取ることができる。 c: インタビューの内容について、主体的に聞き取って捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 比較表現、it の用法に留意しながら、本文を読む技能を身につけている。 b: インタビューについて理解を深めるために、対話の概要や要点を理解することができる。 c: インタビューについて、概要や要点を主体的に把握しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 身近な行事について、比較表現、it を用いて与えられたフォーマットを用いて、英語で相手に伝える技能を身につけている。 b: 身近な行事について、比較表現、it を用いて与えられたフォーマットを用いて、簡単な英語で伝えることができる。 c: 身近な行事について、比較表現、it を用いて与えられたフォーマットを用いて、主体的に情報や考えを相手に伝えようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 自分が好きな歌や本について、身近な行事について、比較表現、it の用法を用いて、詳しく書く技能を身につけている。 b: 自分が好きな歌や本について、基本的な語句や文を用いて、詳しい考えを書いて伝えることができる。 c: 自分が好きな歌や本について、複数の段落を用いて、主体的に相手に伝えようとしている。	定期考査
	中間考査			
	L4 Little Hero L5 Special Makeup in Kabuki	聞くこと	a: 間接疑問文や to 不定詞を含む表現に注意しながら、本文の内容を聞き取ることができる。 b: 身近な動物や歌舞伎について、要点や必要な情報を聞き取って捉えることができている。 c: 身近な動物や歌舞伎について、主体的に聞き取って捉えようとしている。	定期考査
		読むこと	a: 身近な動物や歌舞伎について、間接疑問文や to 不定詞を含む表現に注意しながら本文を読むことができる。 b: 身近な動物や歌舞伎についてについて、理解を深めるために読み進め、要点や概要を把握することができる。 c: 身近な動物や歌舞伎についてについて、理解を深めるために、主体的に本文を読もうとしている。	定期考査
		話すこと （やり取り）	a: 身近な動物や歌舞伎についてについて、与えられたフォーマットを参考にして、間接疑問文や to 不定詞を含む表現を用いて、自分の考えを詳しく話して伝え合う技能を身に着けることができる。 b: 身近な動物や歌舞伎についてについて、基本的な文を用いて、自分の考えを詳しく話して伝えることができる。 c: 身近な動物や歌舞伎についてについて、基本的な文を用いて、主体的に考えを詳しく話して伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。	定期考査 （スピーキングテスト）
		書くこと	a: 日本の伝統文化について、過去完了形を用いながら、与えられたフォーマットを参考にし、詳しく書くことができる。 b: 日本の伝統文化について、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく書いて伝えることができる。 c: 日本の伝統文化ついて、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを詳しく書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
2	L6 Seeds for Future Generation	聞くこと	a: 伝統野菜や世界のアートについて、if 節や関係副詞 where/when に留意しながら、本文を聞くことができる。 b: 伝統野菜や世界のアートについて、理解を深めるために、対話を聞き取り、概要や要点を把握することができる。	定期考査

	L7 Over the Wall		c: 伝統野菜や世界のアートについて、理解を深めるために、主体的に対話を読み取り、概要や要点を把握しようとしている。	
		読むこと	a: 伝統野菜や世界のアートについて、if 節や関係副詞 where/when に留意しながら、本文を読むことができる。 b: 伝統野菜や世界のアートについて、理解を深めるために、対話を読み取り、概要や要点を把握することができる。 c: 伝統野菜や世界のアートについて、理解を深めるために、対話を聞き取り、主体的に概要や要点を把握しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 伝統野菜や世界のアートについて、if 節や関係副詞 where/when を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを詳しく話して伝えることができる。 b: 伝統野菜や世界のアートについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく話して伝えることができる。 c: 伝統野菜や世界のアートについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを話して伝えようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 伝統野菜や世界のアートについて、if 節や関係副詞 where/when を用いて、与えられたフォーマットを参考に、情報や考えを詳しく書くことができる。 b: 伝統野菜や世界のアートについて、基本的な語句や文を用いて、情報や考えを詳しく書くことができる。 c: 伝統野菜や世界のアートについて、基本的な語句や文を用いて、主体的に情報や考えを詳しく書こうとしている。	定期考査
	中間考査			
	L8 Inspiration from Nature L9 The Bitter truth behind Chocolate	聞くこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を聞き取ることができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、概要や要点を把握することができる。 c: 物語や文章について、理解を深めるために、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に内容を聞こうとしている。	定期考査
		読むこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を読むことができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、概要や要点を読み取ることができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に内容を把握しようといている。	定期考査
		話すこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を詳しく伝えることができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、情報や考えを話して伝えることができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に詳しく話して伝えようとしている。	定期考査
		書くこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、簡単な要点を英語で書くことができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、情報を整理して要点を書くことができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に要点を書こうとしている。	定期考査
	期末考査			
3	L10 Fighting Angel	聞くこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を聞き取ることができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、概要や要点を把握することができる。 c: 物語や文章について、理解を深めるために、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に内容を聞こうとしている。	定期考査
		読むこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を読むことができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、概要や要点を読み取ることができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に内容を把握しようとしている。	定期考査
		話すこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、内容を詳しく伝えることができる。	定期考査

			b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、情報や考えを話して伝えることができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に詳しく話して伝えようとしている。	
		書くこと	a: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、簡単な要点を英語で書くことができる。 b: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、情報を整理して要点を書くことができる。 c: 物語や文章について、これまで学習した文法事項や表現に留意しながら、主体的に要点を書こうとしている。	定期考査
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度